

中学校 第1学年 外国語科 学習指導案

北海道初山別村立初山別中学校
教諭 佐藤 孝司

単元名 Lesson 3 Club Activities (8時間)

単元の目標 (Goal) 【内容理解】 生徒たちが週末にしたことを理解する。
【活動】 過去にしたことやできごとを伝えることができる。

本時(第1時)のめあて 【内容理解】 登場人物の会話から、クラブ活動の内容を聞き取り、キーワードを手がかりに内容をつかもう。
【活動】 like / play / do を用いて、クラブ活動について表現することができるようになろう。

指導時期 6月下旬～7月上旬

指導者用デジタル教科書(教材)活用の意図・目的

「指導者用デジタル教科書(教材)」には、音声や場面イラスト、字幕表示などの多様な資料が含まれており、教師が一方的に説明を続ける場面を減らすうえで有効である。本時は、本文に初めて触れる時間として、生徒は英語を細かく訳すことよりも、話の流れや場面の状況を大まかに捉え、全体の意味を感覚的につかむことを重視した。視覚情報と音声を活用することで、生徒は内容を推測しながら理解を深め、学習の見通しを持ちやすくなる。

単元冒頭では、クラブ活動に関する場面イラストや音声を提示し、「誰が」「どのような活動について話しているのか」を生徒に問いかける構成としている。本単元のメイン・テーマを視覚的・聴覚的に捉えることで、生徒はこれから学ぶ内容を直感的に理解し、学習への関心を高めていくことができる。

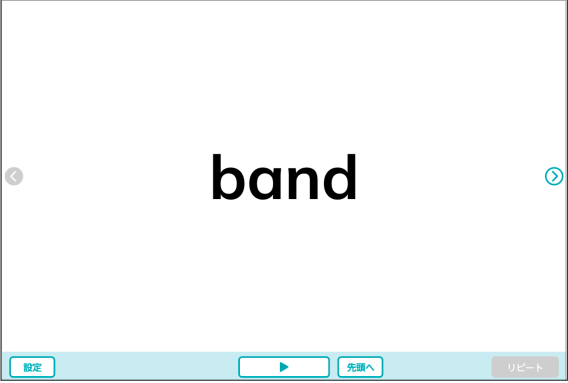
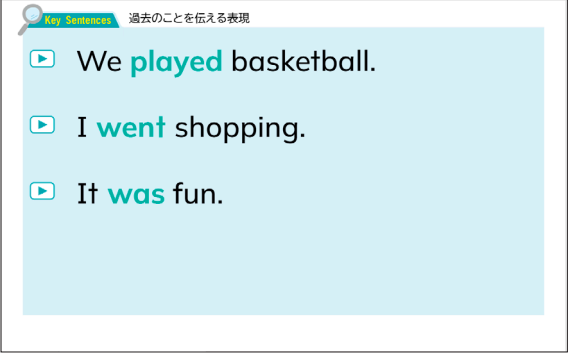
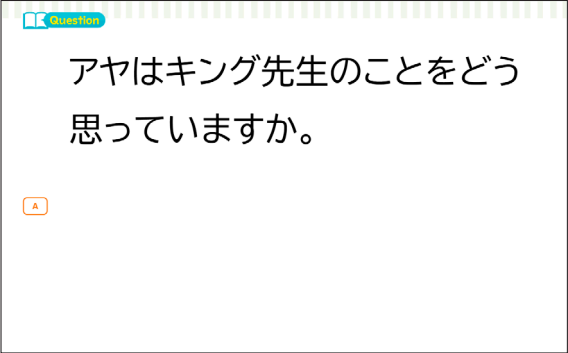
本文の音読活動では、「リーディングコンテンツ」を用いることで、音声と文字を結びつけるための多様な練習が可能となる。発音箇所が順に示される読み上げ形式は、生徒にとって取り組みやすく、英語を声に出すことへの心理的な抵抗感を和らげる。また、再生速度の調整や一時停止、字幕表示の切り替えを活用することで、生徒の理解度に応じた段階的な音読練習を組み立てることができる。

さらに、新しい表現を身につけるためには繰り返しの練習が欠かせない。「Key Sentences 定着コンテンツ」では、基本となる表現が整理されて提示されるため、教師が多くの例文を準備する必要がなく、視覚的にもわかりやすい形で反復学習を進めることができる。

本時(第1時)の展開

	活動内容	デジタル教科書・教材の活用
導入 (12分)	<ul style="list-style-type: none"> 「指導者用デジタル教科書(教材)」の初期画面を開いてコンテンツを起動する。 	

	活動内容	デジタル教科書・教材の活用
導入	<p>1 授業の導入 (5分)</p> <p>(1) あいさつ</p> <p>(2) 帯活動</p> <ul style="list-style-type: none"> ● Activities Plus 1 (p. 45) の「Question」を利用し、Club Activitiesをテーマにアレンジした質問と応答のやり取りでペアワークを行う。また、「Answer 例」「Hints」を適宜活用する。 <p>(例) S₁: What's your favorite sport? S₂: I love basketball. I am in/on the basketball club.</p> <p>2 単元の題材の導入 (7分)</p> <p>(1) 扉ページ (p. 47) の紙面内容を導入する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 「単元導入動画」を視聴し、題材について触れる。 <p>(2) 単元の Goalを確認する。</p> <p>(3) 「本時のめあて」を確認する。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ● Activities Plusを表示する。  <ul style="list-style-type: none"> ● 単元の概要を共有する。 
展開 (35分)	<p>3 本文の発音練習 (10分)</p> <p>(1) コーラル・リーディング</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 「リーディングコンテンツ」で一斉に音読させる。 <p>(2) 個々でのリーディング (「学習者用デジタル教科書」を使用)</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 「リーディングコンテンツ」で各自音読させる。 ● 文章をアレンジして音読させる。 <p>4 本文の確認 (15分)</p> <p>(1) 「Scene」と「Check」でシチュエーションを共有する。</p> <p>(2) 「本文 Picture-Story Show」で本文の内容を推測させる。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ● 音読練習を行う。  <ul style="list-style-type: none"> ● 本文 Picture-Story Show で内容を推測させる。 

	活動内容	デジタル教科書・教材の活用
展開	<p>(3) 「フラッシュカード」を使用し、新出語句を確認する。</p> <p>(4) 推測した本文の内容をグループで共有させる。</p> <p>(5) 「リーディングコンテンツ」で訳を表示し、会話の内容を確認する。</p> <p>5 文法の確認 (10分)</p> <p>(1) Key Sentencesを確認する。</p> <ul style="list-style-type: none"> 「Key Sentencesコンテンツ」を表示し、意味や文の形を確認する。 <p>(2) 口頭練習</p> <ul style="list-style-type: none"> 「Key Sentences定着コンテンツ」を表示し、反復練習をする。 	<ul style="list-style-type: none"> Words & Phrasesの「フラッシュカード」を利用する。  <ul style="list-style-type: none"> Key Sentencesを表示する。適宜メモを書き込む。 
まとめ (3分)	<p>6 まとめ・ふり返し (3分)</p> <p>(1) 「本時のめあて」のふり返しを実施する。</p> <p>(2) 「Question」で内容を確認する。</p> <p>(3) あいさつ</p>	<ul style="list-style-type: none"> 「Question」で内容をふり返る。 

指導者用デジタル教科書 (教材) を活用したことで得られる効果

「指導者用デジタル教科書 (教材)」を活用することで、色彩や音声、文字の動き、登場人物の息づかいといった要素を通して、生徒の視覚・聴覚に直接はたらきかける授業展開が可能となる。これまでは、各時間にプレゼンテーションソフト等を用いて説明用の教材を個別に作成し、授業に臨んでいた。しかし、本教材を用いれば、準備に過度な時間を割くことなく、完成度の高い教材を的確に提示できる。その結果、教師は生徒一人一人の反応や表情を丁寧に捉えながら、個々に応じた支援に注力することができる。

本単元では、平易な英文で日記を書くパフォーマンス・テストもあわせて実施する。高品質な映像や動きのある文字といったコンテンツを効果的に取り入れることで、生徒は英語における過去形の表現を、実感を伴って繰り返し使う余裕をもつことができる。こうした学習のゆとりが生まれる点は、「指導者用デジタル教科書 (教材)」の活用による効果が大きい。

今後も、「指導者用デジタル教科書 (教材)」の使用によって生み出される時間を有効に活かし、生徒にとって協働的であり、かつ個別最適な学習環境の充実を図っていきたい。